	中冊	
	樓 儼	195
	光霽堂讌集演邯鄲夢傳奇口占二絕	195
	葛祖亮	195
目	中秋閱芭蕉樹傳奇	195
H	贈歌者	195
	讀張潄石傳奇有作二首	196
	范廷培	196
次	一日觀傳奇題辭	196
	孔傳鐸	196
	夜半樂・秋夜觀演洪昉思長生殿劇	197
	沈德潛	197
	凌氏如松堂文讌觀劇	197
	觀劇	198
	秦淮雜詠(之三)	198
	席上作	198
	觀劇席上作	198
	戲題旗亭樂府	199
	觀燕子箋劇席上戲題	199
	觀盡忠傳奇座上作	200
	傅仲辰	200
	老伶	200
	贈歌者	200
	觀劇	200
	高其倬	201
	盧生祠	201
	孔傳誌	201
	題桃花扇歌	201
	紀邁宜	202
	與歌者法官	202
	喬生視侯園中牡丹盛開招同人徵伶宴賞紀事一首	
	用山谷韻	202

秋杪郭尉楓菴喬生視侯邀往北嶺觀劇半途車覆徒
步行蹊徑中數里始抵邨至則折揚皇夸殊不堪
入聽爲之意興索然過飯視侯族姪棟家坐間偶
談距村里許有瀑泉前人鐫清流急湍四字於石
崖以標厥勝遂欣然同遊泉從亂山來溜分爲二
鉅細各一其一跌落磵壑中作天風環珮之音其
一伏流入山隙他往岸旁有巨石自成峰巒蒼秀
可愛若人家園林巧匠位置者徘徊至暮而返頓
忘一日之疲勞云 202
四里舖秋報演劇偕同人往觀李姓幼童邀飯其家以
持門戶者乃縞袂青裙之老嫗不便往也適李廣
文玉田自張村至幼童乃其一族遂代爲延客流
連至暮而散李君賦詩紀事見贈且慰余落寞之
意次韻答之使知余之不以外境爲休戚也 203
明周王府遺址203
署中親友復爲我張筵演劇一日三用前韻酬之 203
觀劇用坡谷倡和春萊韻203
次潘冶山觀劇韻二首204
余丙子春自葉旋里過襄城朱氏園蒙主翁柳阡廣文
延時且以所刻歸田詩見贈翁時年七十有九與
余同庚予賦長歌紀事並次其刻中妻字韻詩二
首商邱侯君碩林見之亦和二首不遠千里見寄
君時亦年七十有四蓋神交者四年於茲矣今春
予隨任儀封而君亦來主考城書院遂命駕見訪
復貽新什附以其先世壯悔堂文集見贈把晤之
餘歡若素交流連作竟夕之談殊慰積愫夫壯悔
公爲海內名家風流文采照耀百年予向所傾慕
讀孔東塘先生桃花扇傳奇恍睹當日情事閹孽
蔓延武臣跋扈而公與陳吳數君子以諸生枝拄
其間百折不回卒之陳吳盆死牢獄公亦幾不脫
虎口香君一青樓弱女亦曉暢大義毀服剺面以
媿權姦天地正氣於斯不泯今獲與公後裔遊且
得捧讀遺文其爲愉快何可勝言獨惜衰殘之年
不能時相往來酬酢翻恨訂交之晚耳因次原韻
縷陳顚末不覺多變徵之聲共成八首言雖未工
觀者略其詞而存其意可也 204
仲夏過恒陽偕署中諸友觀演邯鄲夢傳奇遂淹留假榻
者幾經一旬別後賦此寄懷調沁園春 205

徐德音	205
觀演長生殿劇	206
觀傀儡戲	206
戲贈歌妓	206
唐 英	206
月夜環翠亭納涼聽幕中諸友度曲有作	207
中秋日觀演邯鄲夢暨自製野慶諸雜劇率成二首	207
立夏後二夜雨窗觀劇偶演予笳騷塡詞座上有擊節歎	
自形之吟詠者率和原韻示之	207
甲子重陽後一日招友人看菊優飲翌日有賦詩投謝	
者各賦七律一首覆答(之三)	
補上元詩	
觀劇	
丙寅小陽月昌江泛舟	
羅天尺	
錦溪觀劇詩和梁鴻羽	
大洲大龍曲(之三)	
南漢宮詞(之三)	
金花夫人迎神曲	
和杭山長觀劇偶憶亡姬韻	
五日林生徵博攜二小伶過雞庋軒度曲娛予老境	
錢陳群	
下第後玉紅草堂觀劇	210
古香書屋觀演劇	
春夜集存養齋與歌者一絕	
觀劇雜詠八首	211
題長亭劇	211
張世進・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	211
夜起聞鄰人度曲有感	212
書燕子箋傳奇後四首	212
厲 鶚	212
東堂觀劇四首次西顥韻	212
滿江紅・題桃花扇傳奇	213
汪由敦	213

雙溪絕句七十首有序(之十)	213
雙溪絕句七十首有序(之二十六)	213
雙溪絕句七十首有序(之二十七)	214
準烏喇岱行營恭祝萬壽聖節敬紀	214
恭和御製是日復得詩四首元韻(之三)	214
丁卯恭和御製新正二日試筆元韻	214
新正二日乾清宮侍宴恭紀	214
保培基	214
題桃花扇傳奇	215
芙蓉鶺鴒題給家伶又芹	215
芍藥芸郎索題并跋	215
丁未秋前三日四鄉亭納涼觀演新劇感成六絕偶書	
藜伶便面	
蝶戀花・井谷園落成復演新劇	
滿江紅・題黃儀逋前輩新樂府	
兩同心・觀劇	
醉公子・乞餘	
讀曲・悼豔	
尹繼善	218
秋日自清江返棹玉峰老友送至淮關誠齋普公招集逐	
香亭湖蓮正開蒹葭帶雨即席賦韻	
歲暮招子才觀劇仍用前韻	
沐恩紀事恭成十二首(之十一)	
杭世駿	
許上舍源岳出觀家伶四首	219
中秋集遺安樓下聽小伶歌坡仙大江東去詞	220
閔 華	220
蹋繩伎	
題雅雨先生旗亭畫壁傳奇後	220
雅雨先生招集平山堂探梅分韻得橫字	
黄 輅	221
留別蕪湖舊友	221
陳兆侖	221
福州春霖甚盛壬子上巳志局小集值大雷雨廖秀才琉	<u> </u>
有作次原韻	222

金德瑛	222
觀演康對山劇	222
觀劇六絕句李生載菴將重出塞省其尊人觀察公於黑	<u>,</u>
龍江戍所值演尋親之齣閔默起旋席間感之而作	
也	222
同年王孫同招集錫壽堂即事	
觀演勸善金科	
金 甡	
九日碩籠哈達奉旨侍宴恭紀	
和鴻臚傅謹齋爲詝前輩移居四首(之二)	224
發熱河寫懷	
錢 載	224
賜清音閣觀劇恭紀十首	
延真院楊宣慰家梳粧樓	
董元度	226
舟發臨江卻寄野溪丈(之三)	226
十老詩同午崖□夫拈韻(之八)	226
浪淘沙・陸星巖同年宅觀劇	226
楊 鸞	226
秋夜觀劇有感	227
恒 仁	227
雨後西園觀劇集李	227
題瓊花夢傳奇	227
張開東	228
九江権使唐公英招宴觀劇	228
大風中觀劇	228
雜優歌	228
施刺史留觀劇行	228
天津雜詠選十五首(之十二)	228
玉環歌呈汾陽陳明府	229
沈維基·····	229
尹方伯召集半畆天香亭讌賞牡丹步韻二首(之一)	
	229

查 禮	229
行香子・落燈夜心穀伯兄招同余犀若孝廉朱崙何	
孝先二上舍丁苞七周月東二秀才飮澹宜書園	
福郎度曲因賦辛亥····································	···· 230 ···· 230
袁 枚	
贈歌者許雲亭	230
秦淮小集座有歌郎上元許令目懾之郎 <u>亟</u> 引去余迂 許憐郎而調以詩	
閏五月二十八日買舟渡江吳下主人沈雲卓江雨峰 -	_
招兩歌郎爲余祖道	
王郎詩并序	231
寄盧雅雨觀察(之二)	231
臘月五日相公再招觀劇命疊前韻	231
十一月十三日韋疇五副戎率公子虎邱餞別遣歌者	
張郎送歸白下別後卻寄	232
仲冬二十九日高制府招陪蔣侍御西園觀劇即席賦	
謝兼懷望山相公	···· 232 ···· 233
「大いい」では、「大いいでは、「大いいでは、「大いいでは、」では、「大いいでは、」」では、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「大いいでは、」」では、「大いいでは、「いいでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「いいでは、「ないでは、」」では、「ないでは、「ないでは、」」では、「ないでは、」」では、「ないでは、このでは、「ないでは、このでは、このでは、このでは、このでは、「ないでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この	····· 233 ···· 233
揚州秋聲館即事寄江寉亭方伯兼簡汪獻西(之二	
	234
揚州秋聲館即事寄江寉亭方伯兼簡汪獻西(之三)
	234
揚州秋聲館即事寄江寉亭方伯兼簡汪獻西(之四	
担!!!!!	234
揚州秋聲館即事寄江隺亭方伯兼簡汪獻西(之五	.) ···· 234
吳下歌郎吳文安陸才官供奉大內已有年矣今春爲	_
塟親故乞假南歸相遇虎邱略說天上光景且云	
此會又了一生余亦惘惘情深凄然成詠	234
哭劉介菴有序	
景陽閣席上題扇贈歌者曹郎	
過陽羨家舒亭明府外出留詩贈之	
端陽在蘭溪令梁公署中觀劇	
关補山室保作相入都 (之一)	236

在焦山與尚書別後聞其行至望亭詔徵還朝及舟抵 高郵而仍有赴浙之命蒙寄新詩五首文綺八端	
余不能渡江再送賦長句六章寄之(之三)	
歌者天然官索詩	
揚州曲	
丹陽道上留別雙郎	
德 保	238
夜泊周家店	
六十自壽 (之一)	238
蔣戟門侍郎園中桃花盛開招飲即席漫成(之一) …	238
乙巳上元正大光明殿賜宴恭紀	238
程晉芳	239
書在堂諸伶散去兄南坡有詩誌感因和三首	
劉姬行	239
雙鬟度曲歌同商司馬寶意作	
九曲池	
寒夜觀劇三首	
七月十六夜棕亭招同人汎舟紅橋聽石莊上人吹簫	
彩郎度曲作	241
回人伎	241
金兆燕	
集同人夜飲三賢祠醉後乘月泛舟紅橋聽石莊上人	
吹簫彩郎度曲	242
三鳳緣傳奇題詞十首	
金閶曲贈楊郎	242
八月十六日夜康山觀劇樂未闋朱立堂拉登山頂高	臺
玩月主人命侍兒取酒至同飲既醉命筆放歌	243
朱景英	243
畫蝶 八首(之六)	243
送韋載玉赴益陽幕二首(之二)	244
月夜泊朱洲聽小伶度曲感賦四首	
九日同人集東堂觀劇是日演周忠介公遺事	
冬夜南園同人觀演拙製桃花綠傳奇四首	
正月十八日邀那西林蘭泰余退如任伯卿李蘧葊本楠	

王亮齋王曲臺執禮集澹懷軒即事六首(之六)	
清湖至浦城山行雜詩四首(之四)	
錢維城	245
聽廣陵相國故妓林大娘度曲	245
懷似撰甥	245
題楊豆村無雙傳樂府後四首	245
孫士毅	246
遷居作	246
漢池兄屬題蝶影圖	246
書桃花扇傳奇後	246
昭慶寺觀石刻心經弔王昭平先生	247
蒙恩賞假演劇宴客恭紀	247
觀劇口占	247
九日鳳嶺登高四疊前韻(之三)	248
韋謙恆	
金絲堂聽樂并序	248
上元後二日同人小集四松亭賦詩見贈次韻答之	
(之二)	
劉 墉	
觀劇并引	
張九鉞	
臨清州待閘	250
觀演虎口餘生雜劇時任邱邊文學在坐出其曾伯祖太	
原太守所撰虎口餘生記原本兼述逸事余與胡牧	
亭各賦一章 一片石歌	
	251
過吳門遇歌者仚郎以扇乞詩	
超粉辛留人文任怀相阮本 董恆嵓觀察芝龕記題辭十首······	
単四品観祭之龍記趣解「自	
金縷曲・聞蔣苕生孝廉既表婁妃墓碣復譜其事作	<i>233</i>
並被曲· 间將召主李廉既衣晏妃盝晦復謂兵事下 樂府名一片石付豫章諸伶開場演之再依前韻	
以艷其事	253

金縷曲・滋蘭堂中觀演芝龕記院本是前明石柱女	
帥秦良玉道州女帥沈雲英事	254
金縷曲・青陽陳生以販扇往來湖湘間工南北曲將	
就婚粤西索詞贈行	254
金縷曲・吳門逢歌者吳仙以扇乞詞	254
百字令・同海鹽楊蓀皋評事含山李半頁秀才胡蒼	
崖當塗署中觀劇豪飮達旦	254
鳳凰臺上憶吹簫・中秋洛城對月聞隔鄰演劇作	255
王鳴盛	
席上贈歌人四首	255
練祁雜詠六十首并序(之五十二)	256
冬夜東齋	256
觀優人演朱翁子事	
紀 昀	256
鳥魯木齊雜詩(之二十五)	256
鳥魯木齊雜詩(之六十二)	257
鳥魯木齊雜詩(之一百四十三)	257
鳥魯木齊雜詩(之一百四十四)	257
鳥魯木齊雜詩(之一百四十五)	- 257
鳥魯木齊雜詩(之一百四十六)	257
鳥魯木齊雜詩(之一百四十七)	258
鳥魯木齊雜詩(之一百四十八)	258
鳥魯木齊雜詩(之一百四十九)	258
鳥魯木齊雜詩(之一百五十)	258
鳥魯木齊雜詩(之一百五十一)	258
鳥魯木齊雜詩(之一百五十二)	258
鳥魯木齊雜詩(之一百五十三)	- 258
王 昶	259
如臯官舍陳如虹先生焜連宵置酒絲竹駢闐感事觸	
懷因成八絕	· 259
觀劇六絕	260
送金鍾越歸揚州	260
榮經道中閱楊笠湖刺史潮觀所貽吟風閣雜曲偶題	
七絕	
北固山舟次與子才話別(之四)	
秋帆中永激至開封置酒觀劇有作	. 261

至常德聞荊州江堤潰決改道長沙有作	261
金縷曲(蜀棧雲千尺)	262
憶江南・中秋追憶舊事倣樂天體十二首(之六)	262
憶江南・中秋追憶舊事倣樂天體十二首(之十)	262
趙文哲	262
贈歌者楊暹	
寄博晰齋八疊前韻	263
黔伶	
蘭谷復有作柬贈三次前韻	264
蔣士銓	
長生殿題詞	
桃花扇題詞	
唐蝸寄榷使招飲珠山官署出家伶演其自譜雜劇賦	
董恒巖太守芝龕記題詞榕	
中州愍烈記題詞	
寄董恒巖太守兼問蝸寄使君(之三)	
三生石傳奇題詞爲吳湘南秀才作	
京師樂府詞十六首(之二)	
京師樂府詞十六首(之三)	269
京師樂府詞十六首(之四)	
京師樂府詞十六首(之五)	
京師樂府詞十六首(之七)	
京師樂府詞十六首(之十六)	
汪魚亭爲亡友趙山南由儀作芙蓉城雜劇題詞四首	
過百子山樵舊宅二首	
康山宴集酬鶴亭主人並邀邊都轉霽峰袁觀察春[太守體齋家舍人春農江大令階平同作	
壽福堂觀劇呈李西華友棠張秋芷馨松坪坦諸前輩	
康山草堂觀劇	
後懷人詩 (之三)	
雜感(之十五)	
智新涼・自題一片石傳奇	
質新涼・南昌判官程十七北涯浮香舍小飲酒闌口	
占雜紀	
· · · · · =	

賀新涼・鄱陽徐公覆負才名工爲南北曲詞任俠好	
客家遂落年五十日貧困偕孺人畫秋香圖雙照	
自娛屬予題幀首	274
水調歌頭・爲南昌尹顧瓚園悼亡姬姚氏姚爲舊家	
子幼歷患難瀕死而生者三性烈而俠言行皆可	
傳予爲譜空谷香傳奇弔之	274
華胥引・爲南昌尹顧瓚園悼亡姬姚氏姚爲舊家子	
幼歷患難瀕死而生者三性烈而俠言行皆可傳	
予爲譜空谷香傳奇弔之	274
臺城路・爲南昌尹顧瓚園悼亡姬姚氏姚爲舊家子	
幼歷患難瀕死而生者三性烈而俠言行皆可傳	
予爲譜空谷香傳奇弔之	275
滿江紅・自題空谷香傳奇	275
賀新涼・書空谷香後	275
青玉案・自題空谷香院本	275
水調歌頭・自題轉情關院本	276
趙 翼	276
青山莊歌	
揚州雜詠 (之十)	
觀雜耍二首	
歲暮劉蘭陔刑曹竹軒中翰招同章習之吏部暨北墅	
漱田玉亭諸同人讌集梨園小部縱飲追歡即席	
有作	278
移寓椿樹衚衕(之二)	278
題湯肖山道服小照(之三)	
賀秋帆修撰納妾次諸桐嶼編修韻(之一)	279
贈說書紫鬚麵	279
心餘復以歸舟安穩圖索題惜別送行爲賦十二絕句	
(之十)	279
題吟薌所譜蔡文姬歸漢傳奇	. 279
奉命出守鎭安歲杪出都便道歸省途次紀恩感遇之代	
(之五)	
用晰齋韻送龔儀可觀察往普洱招輯番夷	280
太恭人同舍弟夫婦及內子輩到官舍(之一)	
席散偶作	
宴劉總戎福副戎於署園即事	281

戲書	281
舒廣州陳韶州高肇慶三太守餞我於署園梨園兩部	
追歡惜別即席有作	· 281
黎平王太守招同龔郡丞李明府讌集五榕山即事	· 281
將發貴陽開府圖公暨約軒笠民諸公張樂祖餞即席	
留別	· 281
虎邱絕句(之五)	· 282
虎邱絕句(之七)	
西湖雜詩(之十)	
西湖雜詩(之十二)	· 282
觀劇即事	· 282
吳門雜詩(之四)	· 283
吳門雜詩(之六)	· 283
吳門雜詩(之八)	· 283
舟過無錫蘭谷留飮觀劇即席醉題	283
松坪前輩枉和前詩再疊奉答	· 283
棕亭治具招同西巖松坪再可爲湖舫之遊	· 283
冬至前三日未堂司寇招同鶴亭方伯春農中翰奉陪	
金圃少宰夜讌即事二首(之二)	· 284
觀舞燈	· 284
坑死人歌爲郝郎作	· 284
是日竹溪漕帥招同惕莊晴嵐置酒過節高宴竟夕賦	
詩誌雅	· 285
康山席上遇歌者王炳文沈同標二十年前京師梨園	
中最擅名者也今皆老矣感賦	· 285
程吾廬司馬招飮觀劇賦謝	· 285
陳繩武司馬招同春農寓齋讌集女樂一部歌板當筵	20-
秉燭追歡即事紀勝	· 285
戲本所演八仙不知起於何時按王氏續文獻通考及 胡氏筆叢俱有辨論則前明已有之蓋演自元時	
也沙溪旅館有繪圖成軸而題詩於上者詞不雅	
脚因改書數語於後	. 286
顧藩伯歸按察盧運使枉招佳讌梨園皆蘇州子弟也	200
一年來不見此景色矣即席有作	. 286
重遇盲女王三姑賦贈	
五〜 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1 / 1	

題程吾廬小照(之二)	287
京口訪夢樓聽其雛姬度曲	287
松坪招飮樗園適有歌伶欲來奏技遂張燈演劇夜分	
乃罷	. 287
近局之會諸公皆有詩見和再次奉酬	. 287
揚州觀劇	288
計五官歌	288
四月廿二日鎮江看都天會因雨阻改期夢樓招飲	
出家伎奏樂即席二首	288
京口同佩香女史遊招隱寺獅子窟八公洞綠蓋樓	
諸勝	
王夢樓輓詩(之二)	
鎭江看都天會	
哭緘齋姪(之二)	289
有勸余畜聲伎娛老者戲答	289
十月二十二日爲余八十懸孤之辰前一日兒輩爲	
余演劇煖壽是時正白菜上市老夫方謀旨蓄	
禦冬督奴婢醃菜書此一笑	
題鶴歸來戲本	
兒輩既爲余暖壽遂演劇連三日即事誌感	
五九	
哭洪稚存編修(之一)	
哭劉檀橋贊善	
里俗戲劇余多不知問之僮僕轉有熟悉者書以一笑 …	291
村劇有鄧尚書吃酒戒家人有乞詩文者不許通報惟	
酒食相招則赴之余近年亦頗有此興書以一笑…	
錢大昕	
題乞食圖傳奇六首	
洞庭雜詠二十首(之十七)	
敦 敏	
題敬亭琵琶行塡詞後二首	
胡季堂	
己酉九月出京途中口號五疊前韻	
吳省欽	
龍舟曲	
次韻傅鴻臚移居宣武街田山薑舊邸(之二)	. 295

	題楊卭州吟風閣曲譜	295
	與東廬入琴泉寺邨人爲觀音會觀劇	295
朱	: ***	296
	板橋雜記十五首(之三)	296
	小集觀劇次集柳家韻	296
	重五節蘭畹明府招集靜鏡堂觀劇研北山長賦詩	
	紀事次韻二首	296
	庚子嘉平中浣三日諸同寅讌集□□觀劇餞別華	
	陔明府賦呈二絕	296
	余學中士周履蘇孝友性成行端而志正兼精於醫凡見	
	請無不往者以故沭人士莫不推仰倚重之今年夏	
	大疫疲於奔命六月十三日與余同觀劇於劉邑侯	
	之堂酒罷別去越日而病假余肩輿以歸三日後問 耗則履蘇死矣年僅五十耳嗚呼余居沭十有五年	
	往來稱契好者不一人而履蘇爲尤至今已矣爲賦	
		` 297
	姬人生日適有梨園遠至戲書長律用東坡贈朝雲韻 …	
	秦樓月·贈歌者月兒	
	柳梢青・題歌者錢郎松竹流泉小照	
	蝶戀花・贈歌者	
畢		
•	張樂詞	
	歷下亭宴會詩分得醒字	
	板橋行 ····································	
	文治····································	
	渡海前一日觀劇口占	
	徐傅舟將之山左贈行	
	無錫錢瑾巖工爲詩歌兼精音律新詞自倚有姜白石之	
	風頃余擕瑤生及鈿郎奉過彈絲品竹略展閒情瑾	
	嚴爰製哨遍一闋贈瑤生製紅情一闋贈鈿郎續又	
	各贈絕句如千首重章往復詞旨斐然昔賢云世人	
	但解錦纏頭與汝作詩傳不朽瑤鈿二生獲此可以	
	傳矣二生粗諳文義頗深知己之感求予作詩致謝	
	李素誠命家姬出見	
	贈茅師艾	300
	喜程魚門見過即送其北行	301

多日浙中諸公疊招雅集席間次李梅亭觀察韻四	首
(之四)	301
題蔣苕生前輩四絃秋新樂府	301
周韻亭司馬招同陳澂之汪橒亭凝翠舫小集聽家與	姬
合樂	302
汪劍潭偕何數峰雨中過訪寓齋留飲竟夕命家伶	
臨川還魂邯鄲二種曲翌日劍潭製詞見贈悽	
柔感均頑艷余弗能爲詞以詩答之	
次日奉招星橋竹鄉諸君於池上吟寓軒顧曲竹鄉	
韻見贈再答一章	
胡東望招諸同人北顧山僧樓觀大閱次日復至余	,
堂聽家伶奏技馮愛圃以詩紀之余和其韻二	
正塘雷峰訪余於樂圃寓齋余曾出家伶奏技頃芷 詩見寄次韻答之二首	_ , _ , _ ,
題袁籜菴遺像二首有序	
超及達电息家—自有方 賓谷都轉招同袁簡齋前輩張警堂同年謝薌泉漕	
燕堂觀劇歸途大雪有作	
張 塤····································	····· 304
玉松疊韻題予督亢圖中郎女二種院本愛其工雅	
報謝	
雜詠京師新年諸戲效浙中六家新年詩體邀同人 之郵寄吳穀人庶常令連寫卷後十首(之十	
二月二日經筵禮成賜宴文淵閣賜臣塤鐙夕聯句	
玉如意一綵段一龍尾研一筆墨絹箋各十即 恩三十韻	リ 事 だ 305
冬青樹院本亡友蔣心餘病中作也予爲序之越二	202
※	
賀新郎·觀演長生殿院本	
花犯·題石巢四種傳奇	
だが、超行業円僅停可 ・ 炭郡曲・ 環魂記院本・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
一叢花・問窗歬花信	
顧光旭	
楊笠湖九兄刺史寄所製吟風閣曲譜題後	
姚 鼐	
孔信夫舍人自揚州挐舟見訪將自此適蘇州章淮	尌

觀察邀與共觀家伎因作此送信夫	307
哭孔信夫次去歲觀伎韻君自遺書乞余銘墓	307
朱休度	308
總雲者英石也峰既峻而總瘦透三兼焉故是奇品在南海吳將軍府未有稱將軍故與東海之海寧查伊璜 先生結交有奇緣先生客吳時見石錫以名將軍即	
陰遣人奉石杭海造先生廬爲園安置石以待先生歸以供先生奇賞事載紐氏觚賸近西江蔣新畬太 史演爲傳奇號曰雪中人人益豔稱之其石曾轉海 鹽顧氏今歸馬橋馬氏圖來徵詩爲題二絕	
吳 騫	308
蠡塘雜詠五十二首(之三十九)	308
蠡塘雜詠五十二首(之四十六)	309
施伶墓二首	
春柳和查梅史三首(之三)	309
寄荊南舊遊二首	309
同衡照申錫至流川觀劇	310
觀友人演家樂即事八首	
千元十駕詩	311
哀蘭絕句十九首(之十二)	311
翁方綱	311
題冒巢民墨跡并吳梅村手札合卷四首(之四)	311
兩峰畫二首(之二)	312
將發廉州府觀劇作二首	312
東墅復用前韻見嘲有栖霞張樂之句且以東坡攜盼英	:
卿爲辭蓋知予不喜演劇故激使戰耳次韻二首 …	
陸錫熊	312
同年公讌於邵香渚給諌宅即席口號一首	
李調元	313
南宋宮詞百首(之四十九)	313
李愛峰招飮鰲若精舍(之二)	313
雄州晤張度西明府留飮觀劇作歌	313
綿州潘使君招飮觀劇力辭催役不遜被斥進譖不得已	ı
復趕席戲占	
金堂署觀劇	314

得	} 魏宛卿書二首	314
宿	砂相院馬射濱暨諸昆攜尊見訪醉後作歌	
紅	[梅八首并序(之一)	314
_	月三日至團堆壩訪孟時三丈適入山尋藥不遇見葉	
	贊之天相毛殿颺德純兩秀才攜尊邀至梓潼宮鸛	
	劇底暮盡歡而散	315
	山舟行四首(之三)	
九	.月十四日余姪朝塏榜發得雋是日回家祭祠適新都	
	侍御李尚菁陽棫自新都來賀邀同觀劇酒間舊疾 第2014年	
` —	復發翌日侍御問病口占答之尚菁時初起服	
	[村戲場并序	
戊	於州廣文車孝廉粹齋書涪州人寓什邡白魚鋪枉顧並 本不完出的著誌本祭殿之紹(立三)	
1.	邀至家出所著詩文爲贈二絕(之二)	
	江月初一日入安縣界牌聞禁戲答安令	
衝	見高蹻燈歌并序······ ╧譜百詠并序·······	316
	H趙雲松前輩書寄懷四首(之二) ·················	
茹絲		324
	默菴比部席上贈歌兒	
	朝諸名家逸事雜詩(之二十三)	
	桃花扇傳奇十首	
	2夕李曉園席上觀劇漫成	
		325
2	上西長至雪中讓庭明府招飲聽歌即事感懷漫成六首 1987年第1月1日 - 1987年1月1日 - 1987年1月1日 - 1987年1日 - 1987年	
	其末章則專贈汪少君兩令嗣也	
	原药生太史傳奇六首	
遯	了來時髦多耽歌曲檀拍鵾絃予固羨之而抑有感焉爰 	
N.L.	賦四首不必寄視諸子也	
沈	初	
	日心有桃花扇傳奇題詞六首偶和之	
劉秉	••••	
	[劇	
偕	費方伯暨廉使觀察諸君集方崖制府署議讞案議定	
	歸方伯處創稿維時方崖制府邀諸同人習射並設	
	筵演劇洽歡即席賦以誌事	328

朱孝純328	3
雨中宿二脊灘卻寄李官二明府二公次日有賞荷觀劇	
之約 328	3
德靜亭司馬席上感賦328	3
觀演邯鄲夢偶然戲作329	9
答國拙齋方伯五首(之四) 329	9
沈叔埏329	9
暮春宿精嚴寺石塔房口占329	9
黄文暘329	9
余伯符重過揚州感賦四律並哭令弟少雲(之二) … 330)
舊絃曲330)
謝啟昆330)
署齋邀陳松山先生偕同人看芍藥330)
論明詩絕句九十六首(之二十四) 331	1
論明詩絕句九十六首(之八十四) 331	1
論明詩絕句九十六首(之八十七) 331	
石卓槐331	1
雨淋鈴331	1
題桃花扇331	1
桃花扇題詞332	2
再跋桃花扇後332	2
長生殿題詞332	2
再跋長生殿後 333	3
巡水湖雜詩(之四) 333	
高 鶚 333	3
觀劇333	3
百字令・潘左卿席上小伶 333	3
錢維喬334	1
題蓉裳羅襦樂府334	1
偕蔣榕菴侍御袁簡齋平瑤海兩太史成成山司馬暨家	
嶼沙方伯遊湖上小憇淨慈方丈觀烎上人自畫小	
像遺卷分題五古一首 334	
題汪七傅舟小像(之一) 334	1
舊藏素心玉軫蘭皆爲春寒所敗僅存次者二盎花時移	_
置案旁詩以慰之(之一) 335)

錢孟鈿	335
題竹初叔父碧落緣樂府	
題乞食圖樂府	335
周利親	
題清明上河圖二首(之二)	336
龔大萬	336
和吳建軒同年有引	336
潘奕雋	337
坳堂觀察招飮觀劇即席口占	337
題徐榆村鏡光緣傳奇	337
五月廿五日雨中重過山塘聽歌客曰是葉廣平派也回	
思庚戌八月夢樓太守招飮經訓堂聽葉廣平諸君	
度曲時葢十有四年矣感念今昔慨焉成詠	
題葉懷庭遺照	338
九月十三日偕蕘圃拉澄公同遊白雲泉	338
祝德麟·····	
梓潼二首(之二)	
華清宮	339
信宿夢樓快雨堂瀕行留贈兼別雷峰四首(之二) …	339
澹遠堂芍藥屛風歌贈査恬叔舍人世後	339
余將至吳興取眷雷峰邀同紆道遊吳門夢樓留飲出	
家伶演劇即席得二絕句	
讌集快兩堂夢樓出家伶奏伎即席成詩并效其體	
吳翌鳳	
秋日雜感三十首(之十六)	
楊三永叔重納小姬以詩調之八首(之六)	341
邵晉涵	341
讀桃花扇樂府次張無夜先輩韻	341
秦 瀛	342
大梁懷古四首(之四)	342
閱長生殿傳奇偶成二絕	343
詠梁溪雜事一百首(之五十七)	343
詠梁溪雜事一百首(之八十八)	343
詠梁溪雜事一百首(之九十七)	343

觀舞伎	343
移居二十韻	343
過揚州	344
康山二首	344
揚州雜詩十首(之一)	344
揚州雜詩十首(之三)	344
題葉白湖玩月曲後	345
觀劇四首	345
吳 俊	345
薈亭中丞招飮聽家伶新曲并示所製古近體詩	翌日賦
謝	345
盧湘艖州判招飮於虎邱羅浮別墅盛蘋洲司馬	
刺史彭守約孝廉藹堂明府俱在(之一)。	
觀蔣心餘太史雪中人傳奇	
次蘭岩學使見贈之作	
梧州見王太守友蓮	
沈赤然	
京邸夜坐聽趙龍門桐匠門榕度曲	347
梨園觀張優演劇有感	
題仇實父畫閨中行樂四幅(之三)	347
途次觀村落演劇	347
雨後斷橋閒眺仝雪樵作(之二)	347
題云亭山人桃花扇傳奇後二首	348
隔牆聞演雜劇戲爲婢女作	348
新市土俗上元前後無張燈者過此數日里中惡	
鳴鉦遍走街市揚言某社某神欲出夜遊謂	
於是衢巷盡設燈棚好事者又扮演雜戲男	
至中和節猶未已也天或陰雨人家皆倦於 鉦聲如故直至無一人應之始喪氣去因戲	
如	
洪亮吉	
萬壽樂歌三十六章并序(之三十三)	
南樓憶舊詩四十首并序(之十九)	
南樓憶舊詩四十首并序(之三十一)	349

貴陽元夕燈詞(之八)	349
初十日漱石止房銷寒第二集題張太守鳳枝珠還圖	
(之四)	349
陸孝亷繼輅洞庭緣樂府	
回舟泊長安鎭3	350
友人屬題燕子牋樂府	350
友人以湯義仍孔玉叔院本屬題 3	350
買陂塘・題錢孝廉澍川鸚鵡媒傳奇 3	350
吳錫麒	
燈戲行 3	351
金縷曲・題蔣心餘先生臨川夢院本3	351
滿江紅・朱春橋方藹舊有觀演邯鄲夢詞一闋今刻在小	
長蘆漁唱中余在都下偶閱是劇即用其調賦寄春	
橋3	
桂枝香・題唐子畏美人拈花圖3	352
南仙呂·袁蘀庵名于令字韜玉以作西樓傳奇得名嘗官	
荊州守罷歸梅村詩所稱詞客開元擅盛名蕭條鶴	
髮可憐生者是也今其小像在袁綬階處屬題此曲 3	
許兆椿	
觀劇席上作	353
	353 353
觀劇席上作 3 趙懷玉 3 安瀾園觀劇 3	353 353 354
觀劇席上作 3 趙懷玉 3 安瀾園觀劇 3 病後友人招飲即席作 3	353 353 354 354
觀劇席上作 3 趙懷玉 3 安瀾園觀劇 3 病後友人招飲即席作 3 題昇平曲傳奇 3	353 353 354 354 354
 觀劇席上作 趙懷玉 安瀾園觀劇 病後友人招飲即席作 題昇平曲傳奇 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩、3 	353 353 354 354 354
觀劇席上作 3 題懷玉 3 安瀾園觀劇 3 病後友人招飲即席作 3 題昇平曲傳奇 3 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 3 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊	353 353 354 354 354 354
觀劇席上作 3 題懷玉 3 安瀾園觀劇 3 病後友人招飲即席作 3 題昇平曲傳奇 3 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 3 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊 進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 3	353 353 354 354 354 354
 觀劇席上作 超懷玉 安瀾園觀劇 病後友人招飲即席作 題昇平曲傳奇 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 觀劇 3 3 3 4 3 4 5 6 7 7 8 9 9 10 11 12 12 13 14 15 16 17 17 18 19 10 10 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 10 10 10 11 12 12 13 14 15 16 17 17 18 19 10 10	353 353 354 354 354 354 354
 觀劇席上作 超懷玉 安瀾園觀劇 病後友人招飲即席作 題昇平曲傳奇 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 截割 戲贈歌者汪郎 	353 353 354 354 354 354 355 355
 觀劇席上作 超懷玉 安瀾園觀劇 病後友人招飲即席作 題昇平曲傳奇 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 截劇 戲贈歌者汪郎 十月朔朱撫部勳招集終南仙館作餞分得閣字 	353 353 354 354 354 354 355 355
 觀劇席上作 超懷玉 安瀾園觀劇 病後友人招飲即席作 題昇平曲傳奇 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 觀劇 觀劇 觀謝 對別 對別 計別 共月朔朱撫部勳招集終南仙館作餞分得閣字 十月九日老友莊刺史炘陸茂才耀適過近林精舍話 	353 354 354 354 354 355 355 355
觀劇席上作 3 趙懷玉 5 病後友人招飲即席作 3 題昇平曲傳奇 3 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 3 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊 進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 3 觀劇 5 觀劇 6 觀劇 7 十月朔朱撫部勳招集終南仙館作餞分得閣字 3 十月九日老友莊刺史炘陸茂才耀適過近林精舍話 別分得日字 3 3 3 3 4 4 4 5 6 6 7 7 8 8 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	353 353 354 354 354 354 355 355 355
 觀劇席上作 遊懷玉 安瀾園觀劇 病後友人招飲即席作 題昇平曲傳奇 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩・3 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 觀劇 戲贈歌者汪郎 十月朔朱撫部勳招集終南仙館作餞分得閣字 十月九日老友莊刺史炘陸茂才耀適過近林精舍話別分得日字 與張六朝續話舊 	353 353 354 354 354 354 355 355 355
觀劇席上作 3 趙懷玉 5 病後友人招飲即席作 3 題昇平曲傳奇 3 王太守文治枉過舟中並訂觀家伎爲留一日先投以詩 3 中秋夜與周編修兆基孫比部星衍莊舍人復旦集同年楊 進士倫寓齋主人詩先成因次其韻 3 觀劇 5 觀劇 6 觀劇 7 十月朔朱撫部勳招集終南仙館作餞分得閣字 3 十月九日老友莊刺史炘陸茂才耀適過近林精舍話 別分得日字 3 3 3 3 4 4 4 5 6 6 7 7 8 8 8 8 9 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	353 353 354 354 354 354 355 355 355 355

	反東野寒地百姓吟	357
	北邙	357
張	雲璈	357
	息圃觀劇	358
	月夜絢秋軒菊花下聽度曲	358
	春夜嵇笠軒偕過粉坊琉璃街訪歌者王郎不值因讀壁 閒史竹圃同年近什歸賦六絕句以紀其事兼呈竹 圃笠軒	
汨		359
	立春日過蠡濤寓留飲出示西苑早春詩二首次韻和之 (之二)	358
	滄雲戶曹席上送樞直諸公之木蘭和玉圃考功韻	
	(之一)	358
	晚晴閒步後園梅事將闌聞墻外度曲聲因有是作	359
É	 	359
	上元前一日西苑散直邀同樹堂芝軒兩侍講城南觀劇	360
		360
	四月三日同人再集頤園疊前韻答芷塘前輩(之一)	360
	上元前一日立春同年爲歌酒之會晚歸遣興即用查初	
	白先生上元夜飲姜西溟同年寓元韻	
	歌者福郎予使晉時曾於陳時齋司馬席上見之色藝擅	
	一時之最後五年復遇於京華旅邸憔悴依人逈殊	
	昔狀予爲嘆息者久之會章峻峰明府至自保陽因	
	動令攜之而去並爲賦小詩四章悼勝會之不常睹 ************************************	
	芳華之易謝峻峰深於情者倘亦動天涯淪落之感 耶	
	醉中作福郎詩既而悔之再賦四韻以誌吾過並簡鑑溪.	
ш	第一个时间的	
坅	・ 金縷曲・觀劇時演林沖夜奔	
6 2	立酸曲·	362
膨	. ボ 祭	
	小春二十四日家魯齋招同蘭渚太史條山明經近村處	
	小春二十四日《香篇指问阑宿太史候山明經近刊處士泛舟白堤即席分韻得南字	
	題廖古檀小青遺眞記	

觀察陳葯洲先生招同夢樓侍讀冶山庶常條山明經竹	
香刺史讌集雪鴻小築席上出唐子畏夜堂賦別圖	
卷分題因用漁洋山人修襖水繪園韻得八首(之	
<u>'</u> \')	54
劉純齋觀察招同王吳橋觀察何鏡堂太守讌集清江署	
察觀劇席上有作 · · · · · · 36	54
王夢樓太守茅耕亭學士招同劉雲房少宰査篆仙觀察	
陳桂堂太守讌集二知堂觀劇席上即事有作 36	54
南都詠史詩(之八)	55
南都詠史詩(之八) 36 顧郎曲 36	.5 55
滿江紅・題桃花扇傳奇後 36	,5 56
浪淘沙・贈歌者郭生 36	
楊士炳	
小兒班演劇	
李賡芸36	6
船山詩集中有題桃花扇傳奇詩頗不愜鄙意爲作八絕	
「句	57
李 燧36	57
題桃花扇樂府36	57
楊芳燦36	58
戲場轉韻擬薛司隸 … 36	
潺湲引	59
寧夏采風詩有序(之十) 36	
注如洋	
影戲····································	
清明日花間堂席上觀雜技分體得五古 37	
王芑孫	_
再集松軒聽曲六絕句37	
同年孫淵如刑部移居索詩四首(之二) 37	' 1
閏二月廿八日孫淵如刑部星衍招同毛海客大令大瀛吳	
穀人編修錫麒張亥白孝廉問安張船山檢討問陶徐	
朗齋孝廉嵩徐心田上舍明理小飲寓齋寓舊爲歌	
者陳郎所居淵如因用漢瓦文櫻桃傳舍四字顔其	
室船山朗齋即席爲圖同人作詩題後予亦次韻是	
日有雨37	′1

漚波舫歸興二十四首有序(之二十一)	372
上元後三日攜婦子至華亭定居漚波舫四首有序	
(之三)	372
吳 鼒	372
麓泉爲說平話之陳蘭舟索詩走筆贈之	372
新年雜詠(之九)	373
石韞玉	373
逍遙堂述事	373
周廉堂少宰使院觀劇有感二首	373
詠小忽雷	374
觀繩伎作	374
凌廷堪	375
論曲絕句三十二首	375
楊鳳苞	377
水磨頭寓樓雜詩十五首(之九)	378
題阮大鋮樂府	
姚文田	378
先在陳州試畢阻雨主人留觀劇一日是日次太康行	
館卻寄李竹醉振翥太守	378
曾 燠	379
繡女祠(之二)	379
編江西詩徵得論詩雜詠五十四首(之五十)	379
袁希謝	379
題鏡光緣後	379
陳聲和	
北行樂府琵琶女	
北行樂府鼓兒詞	
王 曇	
莫愁湖落成奉呈李松雲宮允作(之一)	
鐵雲先生於宣武坊南鐙火之暇作相如文君伶元通	501
德諸齣商聲楚調樂府中之肴蒸俎豆匪元明科	
諢家所可跂及也太倉畢子筠孝廉華珍按南北	
宮而譜之梁園眾子弟粉墨而搬演之亦一時佳	
話紀以詩	381

成	; 書	381
	扈蹕幸避暑山莊紀事絕句(之七十二)	381
	扈蹕幸避暑山莊紀事絕句(之七十三)	382
孫	原湘	382
	三橋春遊曲和竹橋丈韻十六首有序(之十六)	382
	吳趨吟十首(之三)	382
	吳趨吟十首(之四)	383
	觀劇二首	383
	友人召觀女樂	383
	屠笏巖刺史紳招集遊文書院玉蘭花下	383
	玉臺曲并序	383
	詠琵琶老妓	384
	戲題瞿菊亭孝廉頡紫雲迴樂府	385
	洋川竹枝辭并序(之十一)	385
	洋川竹枝辭并序(之十二)	385
	言依山參軍尚熾才人鑑傳奇	385
	顧橫波夫人小影(之一)	385
	雷海青	
	今昔辭	386
	三國志樂府・青頭雞	387
	摸魚兒·題竹橋吳丈小湖田樂府	387
	易羡寒辭和張椒卿(之三)	387
	題謝孃秋影照	387
	滬城花事絕句	
	歌女	389